

令和5年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1 児童の状況及び実態

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、日記を書くことで、詳しくわかりやすい文章を書くことができる児童が増えてきた。 ・新出漢字が多く、毎日の宿題で取り組んではいるが、定着していない児童が多い。 ・自分の考えを言葉や文章にして表現できる児童と、できない児童の力の差が大きい。 ・感染症対策により、小グループでの学び合いの経験が少ないため、話す活動が不足している。 ・言葉の理解や語彙力に課題が見られ、文章の意味が読み取れない児童が各クラス一定数いる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・「量と測定」単元は、かさや長さの概念が理解できない児童が多い。 ・繰り上がり・繰り下がりの加減計算が苦手な児童は、指を使って計算する児童が見られる。 ・物差しを使って直線を正確に書くなど、算数用具を十分に扱えない。 ・毎日の宿題の積み重ねで理解が深まってきても、少し前の学習を忘れてしまうことがある。 ・時計を読んで、時刻や時間を読み取ることが苦手な児童がいる。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な言葉や表現方法を知り、正しく活用する力 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いをしっかりともち、文章や言葉で相手に伝える力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えの良さを受け止め、楽しみながら考えを伝え合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回日記を書く活動を通して、文章表現や構成を身に付けさせる。「<input type="text"/>」の使い方など、正しい書き方を一緒に確認しながら指導していく。 ・一人で考えた後は、ペアや小グループで話しながら思考を広げていく時間を十分に取る。児童の実態に合ったモデル文やワークシートを準備し、指導を行う。 ・話を聞く視点を示し、頷きや相槌など肯定的な聞き方を指導する。考えを交流する場を多く設定し、様々な考え方に触れ、話し合いを楽しめるような環境を作る。
算数	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確に計算する力 ・器機を使って正しく測定したり読み取った数量を正しく活用したりする力 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味を理解し、適切な計算の仕方を考える力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことの良さや楽しさに気づき、生活の中で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集や一人一台端末などの習熟問題を活用し、繰り返し取り組むことができるようにする。 ・生活場面と結び付けながら、実際に物差しや三角定規、時計、リットルます等で測定する体験的な活動を積極的に取り入れる。 ・図や数直線等を活用して、問題の意味を正しく捉え、適切な計算の方法を考えることができるよう指導する。 ・学習内容を振り返る時間を設け、身の回りで活用・実践できる場話を話し合い、学習を身近に感じさせる。

